第30号 2006.2.20
高知県立幡多けんみん病院発行
〒788-0795
窪毛市山原町芳原3番地1
http://www.rpf.kochi.jp/~hatsu/

病院ニュース News Letter

病気ひとちえ 「バセドウ病」

内科　緒方　巧二

バセドウ病は身体の甲状腺ホルモンが過剰に分泌される甲状腺の病気です。甲状腺ホルモンは代謝を司る重要なホルモンです。バセドウ病では人口1000人中2～6人いるとされており、女性患者が男性患者より5倍多いのも特徴としてあげられます。

バセドウ病の症状は様々ですが、バセドウ病患者さんの多くは甲状腺が腫れてきます。また、ドキドキ感、動悸が起こり、手足がふるえたり、汗が多くなったり、暑がりで疲れやすくなったりする症状が現れます。精神的な興奮、怒りっぽくなったり、食欲が増ってもお腹が減ってしまうことが特徴です。眼球突出はバセドウ病の代表的な症状ですが、眼球突出をきたす割合は3割程度です。また程度の高さはありますが甲状腺の腫脹をきたします。

バセドウ病の治療方法は、抗甲状腺剤の内服、放射性ヨード内服、甲状腺摘出の3つの治療法があります。バセドウ病の治療法は、患者さんの年齢、性別、程度などを考慮して選択されます。ライフスタイルによって選択は異なります。どの治療法を選ぶにしてもポイントは甲状腺ホルモンを正常なレベルにコントロールすることです。甲状腺ホルモン量が正常になれば健康な人と変わらない生活ができます。

部署だより

～教育研修委員会～

教育研修委員会は①職員けんみん病院の医療の質を高める。②院内の教育・研修を基本方針の中で推進する。ことを目的として設置されました。メンバーは、各部署や各委員会の代表17名で構成されています。研修計画のスムーズな実現のため、随時委員会を開催し、計画立案・実施報告・検討を行っています。

委員会は、まず年度目標を立て、年間研修計画を立案します。平成17年度については、「より安全で質の高い医療提供のための知識や実践能力を習得する」ために、新人・教育・安全管理・チーム医療・患者サービスの充実を図ることと、

(1) 地域の医療機関と連携し、地域医療の質の向上に努めること

(2) 職員の医療機関と連携し、地域医療の質の向上に努めること

を重点目標にしました。目標を踏まえ、各委員会とも協力し、研修会開催・研修の充実に取り組む所存です。

救急研修30を含め110余りの研修を計画しました。

当院には、都市部の研修会に参加しにくいという地域的な問題があったため、職員のキャリアアップに対するニーズに応えられるよう院内で多くの研修を計画しております。今回は、様々な研修に熱心に参加する職員が増えてきました。

今後もより良い医療を提供できるよう、研修の充実に取り組む所存です。

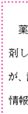
患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を、平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。

くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。

今回は、くすのき委員会での検討内容およびワーキンググループの活動について報告します。



ワーキンググループ報告

満足度調査

過去の調査で満足度の低かった接遇について、過去のご意見をもとに、チェックリストを作成した。1月から部署の巡回を開始。

個人情報保護

患者宅へ電話連絡するときのプライバシーへの配慮について検討。

診察室への氏名による呼出を希望されない患者さんへ番号による呼出を実施

待ち時間調査

17年度の待ち時間調査の集計が終わりました。平均待ち時間（予約は予約時刻、予約以外は受付付け時刻から起算）は、予約：38分（診察前検査あり：59分、診察前検査なし：31分）、予約外：54分、初診：1時間9分でした。初診や予約外の患者さんへの待ち時間の目安となるよう、診療科別に結果を待合へ表示することを検討しています。医師と看護師を対象に待ち時間対策について実施したアンケートからは、午後にも診療枠を設けたり、患者さんが多い時には病棟業務の医師等にも応援を依頼するなど、既に各診療科で努力していることがわかりました。

混雑時には状況を説明するなどしていきますが、待ち時間で困った時などは、受付までご相談ください。

お薬の確認について

薬は、処方箋をもとに薬剤師が調剤しています。その後別の薬剤師が、調剤した薬と処方箋および薬剤情報（薬の説明書）の3つを確認し、患者さんにお渡ししています。この確認作業はすべてのお薬について実施しております。また、間違いがあった時には、QA委員会（Quality Assurance医療の質を管理して、事故のない正確な医療の提供を確実にすることを目的とした委員会）に報告書を提出し、原因分析や改善策の検討など努力しているところです。お薬についての疑問などありましたら、ご遠慮なく薬局までお問い合わせください。

ご意見の集計

17年12月1日～17年12月22日回収分

医療について（4件）

- 68歳の父が循環器科と泌尿器科にかかっており、10種類以上の薬を服用している。薬は母が管理しているが、「いつもの薬がなく、新しい錠剤が入っている。先生は何も言ってなかったが、変な薬ではないのか？」という会話が聞こえてきた。薬剤情報を見ると今までと変更がないため、薬局に持参し間違いがわかった。今回は同じ成分で容量の違うものだったが、飲んでいはいけない薬を処方が変わったものと思い込んでそのまま飲んでいたらと思うと怖い。忙しいと思うが、患者の手に渡るまでに違う人の目で確認していただきたい。他の病院を受診し近くの薬局に行くと、1つ1つの薬を説明しながら袋に入れて手渡して頂いています。
- 予約診察表に書かれている検査がパソコン入力されておらず、中央処置で45分も待つことになった。患者に予約表を渡す時には、パソコンへの入力を医師が確認してから渡してほしい。以前、整形外科医が出張のため受診日を変更したが、連絡がとれておらず、A外来にカルテがなく待たされた。連絡を密にしてほしい。
  - 予防接種を5種類したかったのに4種類しかできなかった。（ほか1件）

接遇について（4件）

- 子供が38度の熱で風邪かと思い小児科を受診。「度々中耳炎で発熱するため、耳鼻科のあるけんみんへ来た」と伝えた。受付は感じよく対応してくれたが、看護師が医師の答えは「3歳になれば中耳炎になったら痛いと言うので大丈夫」との返事。診察医に不快感はなかったが、診察もしないで大丈夫という返事は、「子約外の患者は診ない」という意味のこともう横柄な感じを受け、とても不快だった。「けんみんは相変わらずだ」というのが実感です。
- 初めて診察に来た時、看護師から診察療法を渡され、何の説明もなったので会計にもって行くと、「いったん小児科の受付に出されましたか？」と小ばかにするように言われたことがある。何の説明もないままそのように言われ、もう少し改善してほしい。
- 時間外診療受診のためにあらかじめ電話をしたが、電話の対応がひどい。こちらは「すみません」とか「ありがとうございました」と常識的な言葉を使っているのに、その事務職員は全く常識がない。こんなことは1回や2回ではない。こんな人材しか育てられないのは同じ市民として情けない。（ほか1件）

会計について（2件）

- 会計職員を増やしてほしい。
- 前回と同じ注射をしたのに値段が違っていた。

施設管理について（2件）

- 図書ラウンジに雑誌など若者向けの本を置いてほしいです。

待ち時間について（1件）

- 待ち時間があまりにも長いので、何とかかりませんか？

感謝（1件）

- 今回の入院ではなかなかお世話になりました。迷惑ばかりかけてすみませんでした。○○先生はすごくいい先生です。頑張ってください。

合計14件でした。

病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の住民の医療機関や保健・福祉分護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこなへます。

病院の目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

季節の食卓

「春の香り～蛤～」　～栄養科～

梅の花、桃の花が咲いて春の香りがしてきました。3月のひな祭りの料理にお吸い物として蛤（はまぐり）が使われる方も多くなりますのではないでしょうか。

今日は、「二枚の貝殻は同じものでないと噛み合わず、蛤は別々になってしまう」という話から、「二枚の貝殻は同じものでないと噛み合わず、蛤は別々になってしまう」という話から、「吸い物から焼き物、煮物、酢物と、上品な旨みと甘みがあり春物大きくのいろいろな食べ方が楽しめます。火を通しすぎると身が硬くなってしまうので、鍋が開いたらすぐに火を止めましょう。

栄養成分では、カルシウムが多くマグネシウムの働きでカルシウムの吸収をサポートし骨を丈夫にします。また、ビタミンCは、ビタミンCの働きとして、鉄分の吸収が良くなります。

研修だより

『病院職員向け』

2月21日　医療安全研修
2月27日　MCカンファレンス
2月28日　感染対策研修
3月6日　ACLS研修
3月20日　人工呼吸器取扱研修

『患者様向け』

2月21日　緩原病教室
2月23日　母親学級（乳房検査・母乳相談）
3月7日　緩原病教室（緩原病のくすり・献立のたしなみ）

診療体制変更のお知らせ

近年、医師の人材確保が大変難しくなっており、やむを得ず平成13年4月1日から診療体制を変更せざるを得なくなりました。

皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、お許し願いたいとお願いするしかありません。

呼吸器科の専門緩原病の目途（めど）が立たないため、当分の間呼吸器科の専門緩原病の目途（めど）が立たないため、当分の間呼吸器の診療を休止させていただきます。

耳鼻咽喉科医師が1人となるため、1診体制で診療させていただきます。

精神科及び神経内科は週1回の診療とさせていただきます。

1月の統計

外来患者数	17,259人
外来新患者数	1,343人
総合患者数	337人
新入院患者数	520人
新退院患者数	459人
平均在院日数	18日
救急車・時間外患者数	2,018人
手術件数	156件